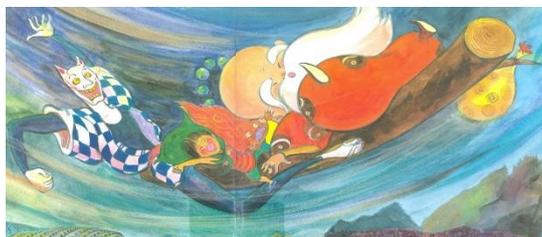


園だより



令和6年7月1日

社会福祉法人新田保育園

園長 大西 陽子

『本当』が心を揺さぶる

6月28日(金)、29(土)、4歳児りす組が1泊2日の園内合宿を行ないました。先月合宿から帰ってきた5歳児ぞう組に「つぎはりすぐみだね」と言葉をかけられた時の表情は、次は自分たちの番だというような、期待に満ちたものでした。けれど、りすぐみがしゅくってなにをするの？と子どもたち。そこで、当日の流れのイラストを貼り、合宿ごっこをしてみることにしました。あくまでも“ごっこ”なので、スイカはビーチボール、提灯には火を入れず、お風呂屋さんもスズランテープを割いて作った湯です。それでもごっこを満喫した様子でしたが、合宿前に何が楽しみか聞いてみると、思わず「なるほど」と呟くほどの答えが返ってきました。

「はなび。だって、いろんないろがびかびかかってきれいだから」

「キャンプファイヤー。ゆかたきるの」

「すいかわりたのしみ。たべられるから」

「お風呂屋さん。おゆにはいるの、たのしみ」

「ごはん。みんなできめたの。りすぐみだけでたべるんだよ」

「ちょうちんぎょうれつ。ひがつくと、きれいだから」



ごっこはごっことして楽しんでいたことがよく分かりました。火花が見られる花火や浴衣を着て踊るキャンプファイヤー、食べられるスイカ割り、ザブンと湯に浸かるお風呂屋さん、りす組がメニューを決めてりす組だけが食べる夕食と朝食、蠟燭を灯す提灯行列など、当日だけ行なう本当の合宿に期待を膨らませていたのです。

4歳児の合宿は1泊で、今年は雨天の為ほとんどを室内で行ないました。けれど、保護者の下を離れ身の回りのことを自分で行なったこと、夜の園舎内を練り歩くなど非日常を目一杯楽しんだこと、そして一緒に一晩過ごしたこと。お風呂の湯やキャンプファイヤーの火が本物でなくても、合宿当日が『本当の合宿』。みんなで一つのことを乗り越えたこの日の体験は、子どもたちの心を揺り動かし、豊かな感性を育むのです。

(文責：須田 千鶴子)



①山内幸代保育士は、手術を要するため7月中旬より病休に入ります。

代替で曲尾保育士、主任がりんご組に入ります

②7月12日(金)は、夏まつりです。16時～18時半が開催時間です。お子さんといらしてください。

③7月13日(土)は、前期保育総括会議です。各年齢・部署の保育を振り返り、今後に繋げていく会議です。

④7月24日(水)は、プール写真の日です。雨天の場合は8月7日(水)に延期となります。

⑤令和5年度決算書と第三者評価の結果を、玄関の幼児生活表横に展示しています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
7月	頭 ジラ ミチ エック ・プ ール 出し	健康 体育 (3・4 ・5 歳児)			誕生 会・ 写真 の日 ・避 難訓 練						プ ール 開 き		前 期 保 育 総 括 会 議				健 康 診 断 (0・2 歳児)							プ ール 写 真 の 日 (雨 天 延 期)							